



WHO健康都市おおぶ

平成27年3月12日 愛知県在宅医療連携拠点推進事業成果報告会

幸齢社会の実現をめざして

～誰もが大府で暮らして、幸せを実感できるまち～

大府市

在宅医療・介護連携推進会議 会長 安井直

事務局：市福祉子ども部福祉課高齢者支援室 室長補佐 多田桐子



大府市 「みんな輝き 幸せ感じる 健康都市」
Welcome to OBU City

1



WHO健康都市おおぶ

大府市の概要



大府市長 久野孝保

面積	33.68km ²
総人口	89,156人 (H27年3月1日現在)
高齢者数	18,090人 (20.29%)
後期高齢者	7,561人 (8.48%)
人口増減率	6.21% (国勢調査： 22年と17年と比較)



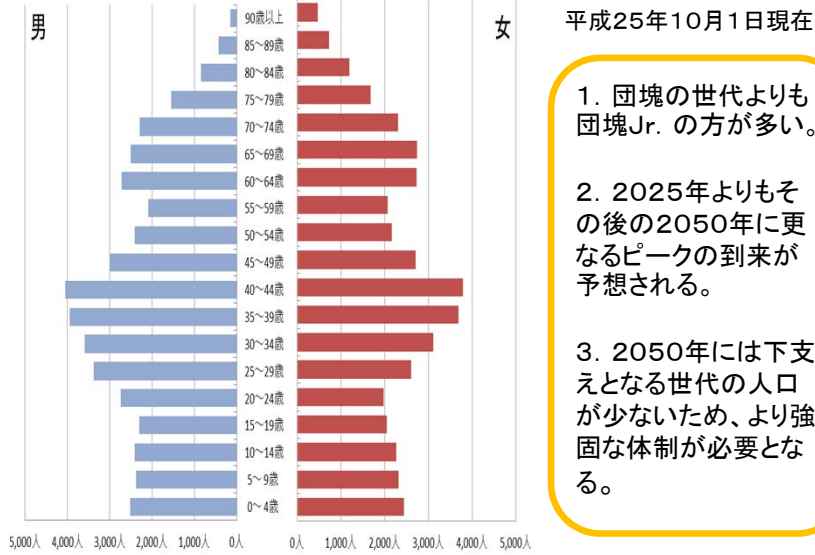
大府市健康づくり
マスコットキャラクター
「おぶちゃん」



大府市 「みんな輝き 幸せ感じる 健康都市」
Welcome to OBU City

2

1. 大府市の人口ピラミッド

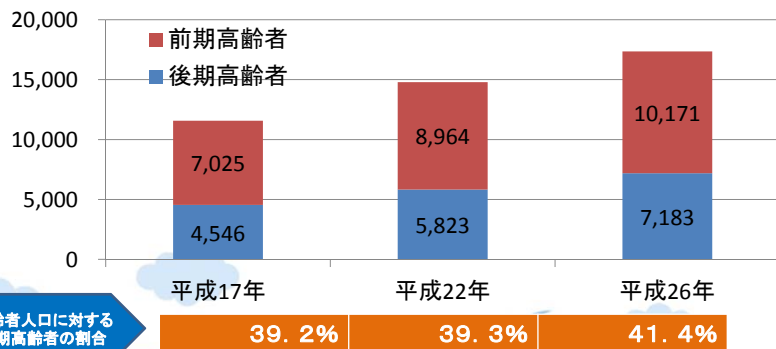


1. 団塊の世代よりも団塊Jr.の方が多く。
2. 2025年よりもその後の2050年に更なるピークの到来が予想される。
3. 2050年には下支えとなる世代の人口が少ないため、より強固な体制が必要となる。



WHO健康都市おおひ

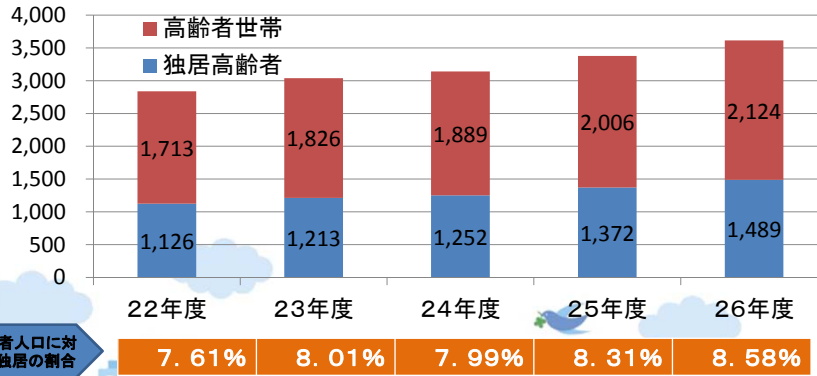
2. 高齢者人口の推移





WHO健康都市おおぶ

3. 独居・高齢者世帯数



大府市 「みんな輝き 幸せ感じる 健康都市」
Welcome to OBU CITY

5

4. 市内医療・介護資源マップ



☆医療機関

病院・・・4
 医科診療所・・・47
 歯科診療所・・・39
 薬局・・・37

☆介護事業所(定員)

居宅介護支援事業所・・・28
 訪問介護事業所・・・16
 通所リハビリテーション・・・3
 通所介護事業所・・・23
 短期入所生活介護・・・5
 短期入所療養介護・・・1
 認知症対応型通所介護・・・1
 認知症対応型グループホーム・・・6
 小規模多機能型居宅介護・・・1
 介護老人福祉施設入所者生活介護・・・1
 特定施設入居者生活介護・・・1
 介護老人福祉施設・・・3(330)
 介護老人保健施設・・・1(100)
 介護療養型医療施設・・・1(32)

地域密着型

● 訪問看護ステーション・・・6
 (○訪問リハビリテーション・・・2)
 ★ 在宅支援診療所・・・6



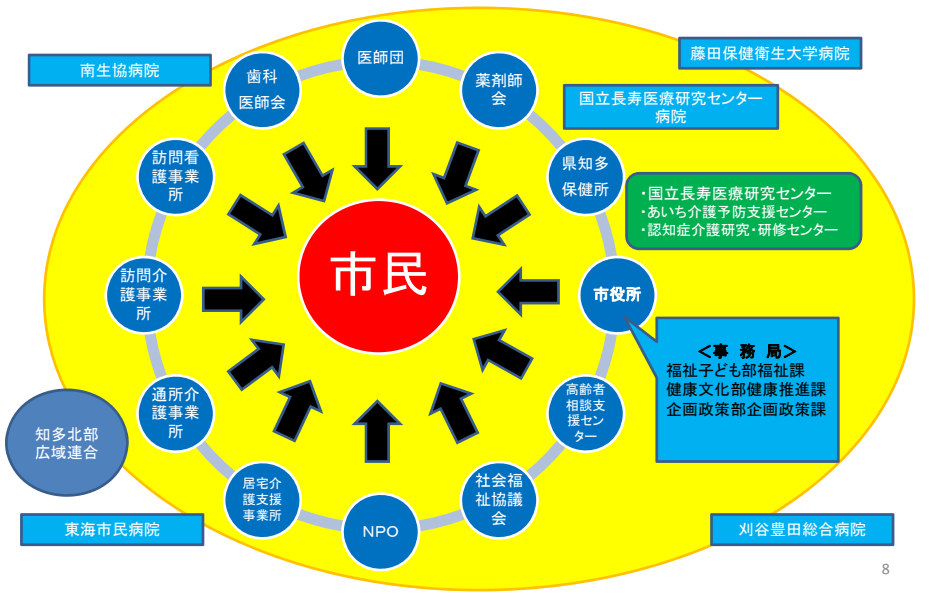
5. 大府市の医療と介護の特徴

- (1) 大府市医師団、歯科医師会、薬剤師会は、月1回(年11回)の定例会議を催しており、同職種毎の連携は図れている。
- (2) 市民は専門医療機関として、国立長寿医療研究センターを始め、近隣の刈谷豊田総合病院、藤田保健衛生大学病院、東海市民病院、南生協病院等に受診している。
- (3) 国立長寿医療研究センター、認知症介護研究・研修大府センター、あいち健康プラザ、あいち小児保健医療総合センター等の世界有数の健康・医療・福祉・介護等の関連の地域資源が集積した**ウェルネスバレー**がある。

- (1) 知多北部広域連合(大府市・東海市・知多市・東浦町)が介護保険者である。
- (2) 知多北部広域連合内で居宅介護支援事業所数、介護老人福施設の定員数が1位。
- (3) 居宅介護支援事業所連絡協議会、通所系サービス事業所連絡会、訪問介護サービス事業所連絡会があり、同職種での情報交換や三連協同の研修会等実施している。



6. 大府市の在宅医療の組織図



7. 在宅医療・介護連携推進会議 組織図



代表者会議



課題別ワーキンググループ

情報共有

24時間体制

認知症対応



9



WHO健康都市おおふ

8. 在宅医療連携拠点推進事業の実際

(1) 在宅医療・介護連携推進会議(代表者会議)

回	日時	会場	内容等
1	4月14日(月) 午後1時30分～	市役所2階 201会議室	初回顔合わせ(自己紹介)、26年度事業について、アンケート調査について、意見交換
2	5月29日(木) 午後1時30分～	市役所2階 205会議室	在宅医療に関するアンケート結果について(速報)、ワーキンググループ、26年度事業について報告、意見交換
3	7月31日(木) 午後1時30分～	市役所2階 201会議室	在宅医療に関するアンケート結果について、ワーキンググループ経過報告 情報共有(ICTの活用)について意見交換
4	10月9日(木) 午後1時30分～	市役所2階 201会議室	ICTの活用への具体策について、市民啓発についての意見交換 ワーキンググループ等事業報告
5	11月20日(木) 午後1時30分～	市役所2階 201会議室	おぶちゃん連絡帳について、大府市医療・介護ネットワーク協議会について 市民講座について、ワーキンググループ等事業報告
	1月29日(木) 午後1時30分～	市役所206～ 207会議室	市民講座等のPRについて、おぶちゃん連絡帳を稼働するにあたって 27年度事業計画について、ワーキンググループ等事業報告



大府市 「みんな輝き 幸せ感じる 健康都市」
W@R@FFLE LO@BBLY@C@TY

10



8. 在宅医療連携拠点推進事業の実際

(2)課題別 ワーキンググループ ①情報共有

回	日時	会場	内容等
1	5月22日(木) 午後1時30分～	市役所地下 001～002	合同説明の後、各ワーキンググループ討議 ワーキンググループの進め方、日程の予定
2	6月5日(木) 午後1時30分～	市役所地下 001会議室	多職種の必要と思われる情報、情報共有に必要な情報
3	7月10日(木) 午後1時30分～	市役所2階 201会議室	情報共有ツール 電子@連絡帳とは プチ体験
4	8月28日(木) 午後1時30分～	Allobu2階 会議室3	電子@連絡帳を使った情報共有のデモケース体験
5	9月25日(木) 午後1時30分～	市役所3階 302会議室	有効性の検証
6	1月22日(木) 午後1時30分～	市役所2階201 会議室	講義「おぶちゃん連絡帳の活用方法について」 講師 名古屋大学総長補佐 水野正明先生 名古屋大学システム情報室長 杉下明隆先生 グループワーク「おぶちゃん連絡帳の利活用について」



大府市医療・介護ネットワーク

「おぶちゃん連絡帳」の稼働(2月1日～)





8. 在宅医療連携拠点推進事業の実際

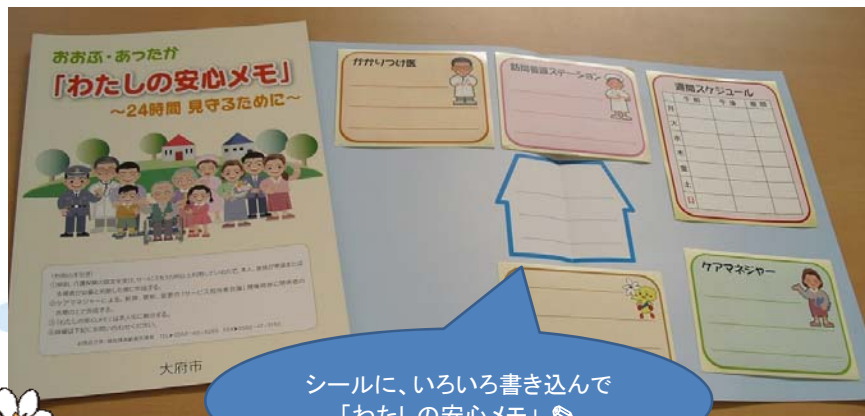
(2)課題別 ワーキンググループ ②24時間体制

回	日時	会場	内容等
1	5月22日(木) 午後1時30分～	市役所地下 001～002	合同説明の後、各ワーキンググループ討議 ワーキンググループの進め方、日程の予定
2	6月11日(水) 午後1時30分～	市役所3階301 会議室	グループ制や主担当・副担当制の検討
3	7月 9日(水) 午後1時30分～	市役所2階 205会議室	事例を通して、24時間体制についてのグループワーク検討
4	10月1日(水) 午後1時30分～	市役所2階 207会議室	高齢者主役にした支援者シート①検討
5	1月21日(水) 午後1時30分～	市役所2階 207会議室	高齢者を主役にした支援者シート おおぶあったか「わたしの安心メモ」の検討 27年度について



おおぶ あったか

「わたしの安心メモ」の完成と活用





8. 在宅医療連携拠点推進事業の実際

(2)課題別 ワーキンググループ ③認知症対応

回	日時	会場	内容等
1	5月22日(木) 午後1時30分～	市役所地下 001～002	合同説明の後、各ワーキンググループ討議 ワーキンググループの進め方、日程の予定
2	6月23日(月) 午後1時30分～	市役所2階 207会議室	認知症の実態 高齢者相談支援センターの実績 アンケートの分析 事例検討
3	7月28日(月) 午後1時30分～	市役所2階 205会議室	今後の認知症対策について、認知症気がかりシートについて 8月20日～9月30日業務の中でシート記入試行
4	10月27日(月) 午後1時30分～	市役所2階 207会議室	気がかりシートを記入してみたの気づき検討 おおぶあつたか「もの忘れチェック」の検討
5	1月19日(月) 午後1時30分～	市役所2階 207会議室	おおぶあつたか「もの忘れチェック」の検討 認知症ケアパスについて



おおぶ あつたか 「もの忘れチェック」と気がかりシート の作成

初期症状をチェックしてみよう

初期段階のサインを発見できれば、治療や適切なケアにより、症状を軽くしたり、進行を遅らせたりすることが可能な場合があります。早期発見、早期受診に心がけましょう。

① 同じことを言ったり聞いたりする。	⑪ ささいなことで怒りっぽくなった。
② 置き忘れやしまい忘れが目立ってきた。	⑫ 短口、ガス栓の締め忘れ、火の用心ができなくなった。
③ 物の名前が出てこなくなった。	⑬ 複雑なテレビドラマが理解できない。
④ 薬の管理ができなくなった。	⑭ 料理の手順がなくなった。
⑤ 以前あった関心や興味が失われた。	⑮ 機械の操作が覚えられない。
⑥ だらしなくなった。	⑯ 使いこなせない、使い方を忘れる。
⑦ 日課をしなくなった。	⑰ 思考が遅くなった、判断力が落ちた。
⑧ 時間や場所の感覚が不確かになった。	⑱ 夜中に急に起き出して騒いだ。
⑨ 慣れたところで迷った。	⑲ 幻覚を見る。
⑩ 財布などを盗まれたという。	

このチェックは、あくまで目安ですので、必ずしも認知症と診断されるわけではありません。

気がかりシート <ステップ1>

氏名: _____ 性別: _____ 年齢: _____

住所: _____

電話番号: _____

主治医: _____

かかりつけの薬局: _____

家族の状況: _____

認知症の症状について (チェックしてください)

① 最近、覚えられないこと (人名、場所、物など) ② 物忘れがひどい

③ 物忘れがひどい ④ 物忘れがひどい

⑤ 物忘れがひどい ⑥ 物忘れがひどい

⑦ 物忘れがひどい ⑧ 物忘れがひどい

⑨ 物忘れがひどい ⑩ 物忘れがひどい

⑪ 物忘れがひどい ⑫ 物忘れがひどい

⑬ 物忘れがひどい ⑭ 物忘れがひどい

⑮ 物忘れがひどい ⑯ 物忘れがひどい

⑰ 物忘れがひどい ⑱ 物忘れがひどい

⑲ 物忘れがひどい ⑳ 物忘れがひどい

⑳ 物忘れがひどい ㉑ 物忘れがひどい

㉑ 物忘れがひどい ㉒ 物忘れがひどい

㉒ 物忘れがひどい ㉓ 物忘れがひどい

㉓ 物忘れがひどい ㉔ 物忘れがひどい

㉔ 物忘れがひどい ㉕ 物忘れがひどい

㉕ 物忘れがひどい ㉖ 物忘れがひどい

㉖ 物忘れがひどい ㉗ 物忘れがひどい

㉗ 物忘れがひどい ㉘ 物忘れがひどい

㉘ 物忘れがひどい ㉙ 物忘れがひどい

㉙ 物忘れがひどい ㉚ 物忘れがひどい

㉚ 物忘れがひどい ㉛ 物忘れがひどい

㉛ 物忘れがひどい ㉜ 物忘れがひどい

㉜ 物忘れがひどい ㉝ 物忘れがひどい

㉝ 物忘れがひどい ㉞ 物忘れがひどい

㉞ 物忘れがひどい ㉟ 物忘れがひどい

㉟ 物忘れがひどい ㊱ 物忘れがひどい

㊱ 物忘れがひどい ㊲ 物忘れがひどい

㊲ 物忘れがひどい ㊳ 物忘れがひどい

㊳ 物忘れがひどい ㊴ 物忘れがひどい

㊴ 物忘れがひどい ㊵ 物忘れがひどい

㊵ 物忘れがひどい ㊶ 物忘れがひどい

㊶ 物忘れがひどい ㊷ 物忘れがひどい

㊷ 物忘れがひどい ㊸ 物忘れがひどい

㊸ 物忘れがひどい ㊹ 物忘れがひどい

㊹ 物忘れがひどい ㊺ 物忘れがひどい

㊺ 物忘れがひどい ㊻ 物忘れがひどい

㊻ 物忘れがひどい ㊼ 物忘れがひどい

㊼ 物忘れがひどい ㊽ 物忘れがひどい

㊽ 物忘れがひどい ㊾ 物忘れがひどい

㊾ 物忘れがひどい ㊿ 物忘れがひどい

**ワーキンググループの会議前
には、グループ内の有志と
前打合せ等を繰り返す**

(3) 多職種連携研修会 地域の顔のみえる関係づくり



気軽に参加
研修+
グループワーク
と懇親会を
セットに！
気軽に話す

多職種連携研修会

回	日時	会場	内容等	参加人数
1	5月8日(木) 午後1時30分～	市役所多目的ホール	講義「在宅医療連携拠点推進事業とは～市の課題～」 講師 国立長寿医療研究センター 三浦久幸先生 グループ討議「大府市の在宅医療介護の現状をお互いに理解しよう」	90
2	5月17日(土) 午後4時～	スピカ多目的ルーム	5月8日(木)と同様の内容 懇親会午後6時～	73
3	10月9日(土) 午後3時30分～	保健センター	講義「地域包括ケアにおける在宅医療連携～地域のつながりを求めて～」 講師 牧医院(県医師会総合政策研究機構顧問) 牧靖典先生 豊明市南部地域包括支援センター-田中貴教氏 グループ討議「在宅医療連携をより良くしていくには」 懇親会	85
4	11月6日(木) 午後1時30分～	市役所多目的ホール	講義「終末期医療、がん治療の最新情報」 講師 いきいき在宅クリニック院長 中島一光先生 長寿医療研究センター-緩和・EOLケアチーム 医師 西川 満則先生	89
5	2月14日(土) 午後1時30分～	石ヶ瀬会館	講義「在宅における摂食・嚥下の評価と対応」 講師 知多郡歯科医師会会長 内藤講一先生 講義「多職種と薬剤師の関わり方」 講師 大府市薬剤師会 加藤大策先生 多職種のグループワーク(情報交換) 懇親会	59





WHO健康都市おおぶ

(4)市民啓発 市民公開講座 5/13



齋藤 康氏の講演
「いかに生きるか」
&
大島伸一名誉総長とのトーク
セッション「健康長寿時代の
終を考える」



WHO健康都市おおぶ

(4)市民啓発 在宅医療・介護連携 in 大府3/1



安井 直氏
在宅医療・介護連携
推進委員会委員長



内田 恵美氏
在宅医療・介護連携
推進委員会副委員長



柴田 久香氏
在宅医療・介護連携
推進委員会副委員長



大嶋 孝
在宅医療・介護連携
推進委員会副委員長



加藤 剛氏
在宅医療・介護連携
推進委員会副委員長



宮崎 眞智子氏
在宅医療・介護連携
推進委員会副委員長

在宅ケア事例報告等
&
秋山正子氏の講演
「在宅ケアの不思議な力」





9. 実績ロードマップ (25年度)

項目	事業名	25年度		
		1月	2月	3月
1 多職種連携の課題の抽出と解決策の検討	在宅医療連携拠点推進事業準備会議 (代表者 9団体)	23日	20日	13日
	地域医療連携研究会	14日		
	地域包括ケアシステム構築支援事業 (社会福祉協議会主催 市補助事業)		1日 23日	11日 23日
	認知症地域支援ネットワーク検討会議		24日	
2 在宅医療従事者の負担軽減の支援	元気な高齢社会を目指す検討会議 (8団体)		5日	10日
	関係機関のアンケート調査の内容検討			アンケート案作成
	在宅看護事業所訪問	6日	3日 10日	
	医師例会において役員等の調整選出	28日		
	歯科医師例会において事業説明と協力依頼、委員の選出			12日
3 効率的で質の高い医療提供のための多職種連携	薬剤師例会において事業説明と協力依頼、委員の選出			26日
	定期巡回・随時対応型訪問介護事業所申請支援	17日		
	大府健康長寿サポート会議に参加	16日	19日	18日
4 入院病床の確保及び家族の負担軽減に向けた取り組み	知多部医師会主催の医療・介護・福祉の連携強化に関する学術講演会に、在宅医療介護関連職員を勧誘し、事務局も参加して、電子@連絡帳の学習	25日		
	地域医療ネットワーク(Human Bridge)について学習		25日	
5 在宅医療に関する地域住民への普及啓発活動	在宅医療・介護チーム情報共有研究会	30日		
	長寿医療研究センターへの訪問打合せ		10日	
	市民公開講座(長寿医療研究センター在宅連携診療部主催)「自宅で大往生へ！人生を充実させるために」後援とPR協力、当日参加		22日	



9. 実績ロードマップ (26年度)

項目	事業名	26年度												
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1 多職種連携の課題の抽出と解決策の検討	在宅医療・介護連携推進会議(代表者)	14日	29日		31日				9日	20日		29日		
	24時間体制WG		22日	11日	9日			1日			21日			
	情報共有(ICT含む)WG		22日	5日	10日	28日	25日				22日			
	認知症対応WG		22日	23日	28日			27日		6日	19日			
	全体会議・多職種連携研究会		8/17日			30日					14日			
2 在宅医療従事者の負担軽減の支援	関係機関のアンケート調査	発送	回答	集計	分析	まとめ案	まとめ	まとめ完成	まとめ配布	再調査依頼	再調査回収			
	24時間対応の在宅医療看護介護体制の情報収集と設立への支援								認可					
3 効率的で質の高い医療提供のための多職種連携	多職種連携による地域ケア会議の開催	○	○	○	31日					4日			1日	
	職種別研究会 介護支援専門員、訪問看護等	会議	会議 16日 ケアマネ	会議 23日 民生児童委員					14日 ケアマネ	20日 歯科医と多職種 種合同			13日 ケアマネ	
4 入院病床の確保及び家族の負担軽減に向けた取り組み	情報共有ICTツール「おぶちゃん連絡帳」の活用 情報共有ワーキンググループで検討						予も版で試行、検討	稼働準備		説明会	説明会		稼働	
	長寿医療研究センターとの支援関係、地域医療連携室との連絡・連携	16日	19日		24日		3日		13日 19日	11日	27日		9日	
5 在宅医療に関する地域住民への普及啓発活動	近隣病院の地域医療連携室等との連携									14日刈谷豊田総合病院面談			4日藤田保健衛生大、5日南生協病院訪問	
	在宅医療に関するフォーラム	オーストラリアPR	13日				企画	講師依頼	最終企画	チラシ完成	チラシオーストラリア完成	オーストラリア完成	PR	1日
6 在宅医療に関する地域住民への普及啓発活動	おぶあったが「もの忘れチェック」認知症対応ワーキングで作成							企画	原案作成	業者選定	校正、完成			
	おぶあったが「わたしの安心メモ」24時間体制ワーキンググループで作成							企画	原案作成	業者選定	校正	完成	関係機関への配布	



WHO健康都市おおひ

10. 27年3月のビジョン (26年4月の中間報告会にて発表)

◆市民が在宅医療を身近に感じることができる

在宅医療に関心を持つ人の増加

(市民講座時の意識調査 在宅医療連携拠点推進事業の推進を知っていたか?)

5月 31.0% ⇒ 3月59.3%

終を含め在宅生活を、自分で選べるまち

(市民講座時の意識調査 終を考えた時に、住み慣れた自宅で過ごしたいか?)

5月 68.0% ⇒ 3月58.7%

◆関係機関が在宅医療を通して、顔のみえる関係となる。

在宅支援診療医師(4月4か所 ⇒ 2月6か所)、歯科医師(在宅療養支援歯科診療所
4月4か所 ⇒ 2月4か所)、薬剤師数(在宅医療受入薬局の増加4月未把握 ⇒ 2月8か所)
の増加

24時間体制の訪問看護事業所の増加(4月4か所 ⇒ 2月5か所)

24時間体制の訪問介護事業所の増加(4月0か所 ⇒ 2月1か所)

◆15か月以降も継続していける体制ができている。

介護保険の地域支援事業として、27年度～福祉課高齢者支援室を主事務局で継続



大府市 「みんな輝き 幸せ感じる 健康都市」
Website: 10081.city



WHO健康都市おおひ

11. 事業の評価指標 (4月の中間報告会にて発表)

評価指標	25年12月実績	26年4月実績	27年2月末実績	27年3月目標
在宅医療・介護連携推進会議 準備会議(代表者会議)開催回数	0回(準備のみ)	3回(準備会議)+1 回(代表者会議)=4 回	代表者会議9回	代表者会議9回
在宅医療介護連携推進会議全体会 の参加人数	会議なし	3月23日 地域支え合い体 制づくりについて考える研修会 の参加人数70人	2/14第4回は59人 11/6第3回は89人	年度最後の会議の 参加人数 100人
居宅療養管理指導を月4人以上行う 医師(医療機関)数	2	4	5	4
24時間対応する訪問看護事業所数	3か所	3か所	4か所	4か所
24時間対応 定期巡回・随時対応 訪問介護看護事業所数	0か所	0か所	1か所	1か所
上記指定ではないが、24時間対応 可能な訪問介護事業所	1か所	1か所	1か所	4か所
在宅療養支援診療所数(県医師会あ いらい在宅医療ネットより)	4医療機関	4医療機関	6医療機関	増加
訪問看護実施数(事業所の実績報告)	未把握	350人	549人	増加
市民意識調査(65歳以上)在宅医療 の満足度	未実施	在宅医療連携拠点 推進事業の周知度 5月31%	同左 3/1市民講座 59.3%	上昇
市民向けフォーラム、講演会数	0回	1回	2回 (3/1、開催予定)	3回

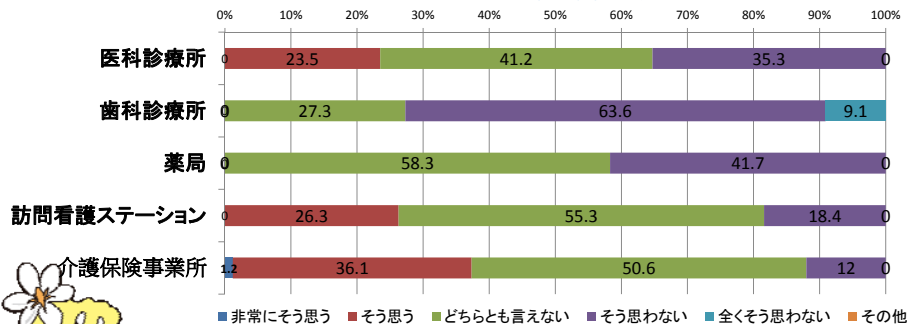


12. モデル事業の成果

(1) 会議や多職種連携研修会に参加している方は、
顔のみえる関係が必要と認識していることがわかった。

○現在多職種との「顔のみえる関係」が取れていると思いますか？

関係機関意識調査(27年1月配布、2月回収)

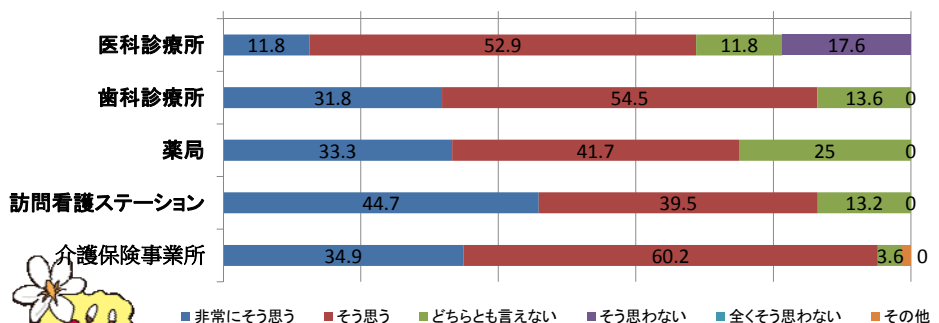


12. モデル事業の成果

(2) 在宅医療を推進する必要性を感じている職種に格差。
また、同職種内にも熱意に温度差があることがわかった。

○在宅医療を推進する必要があると思いますか？

関係機関意識調査(27年1月配布、2月回収)





12. モデル事業の成果

- (3) 知多北部広域連合及び他の構成市町に、研修会等の際に参加勧奨し、27年度は3市1町ともに在宅医療・介護連携推進事業を開始予定となった。
- (4) 情報共有ツールとして、ICTの導入により、新たな連携方法が開始された。
- (5) 在宅医療についての必要性について、情報発信や市民啓発活動を開始することができた。



13. 10年後のビジョン (26年4月の中間報告会にて発表)

「幸齢社会の実現」

～誰もが大府で暮らして、幸せを実感できるまち～

- ◆在宅医療があたりまえのまち
- ◆エンディングは自分で決めることができるまち
- ◆子どもから大人まで、誰もがかかりつけ医を持つまち
- ◆認知症・介護を予防できるまち
- ◆住み慣れた地域で暮らしていけるまち





14. 今後の課題

- (1)切れ目のない在宅医療と介護の提供体制づくりの推進
- (2)在宅医療・介護推進者を一人でも増やす
- (3)市民への在宅医療の浸透

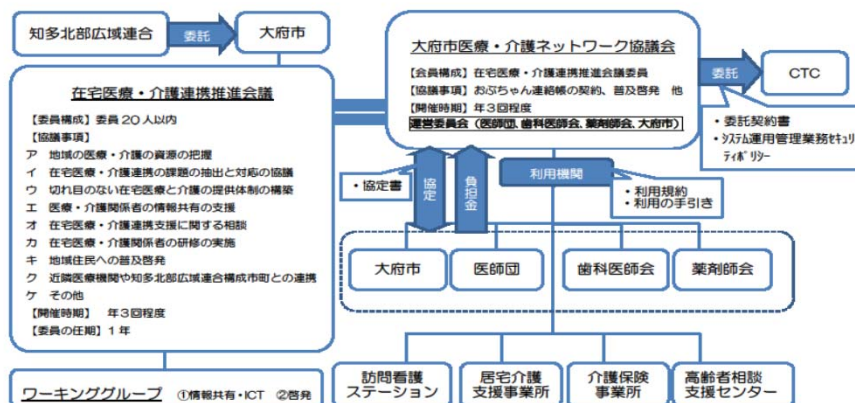
対策 → **多職種の力(ワーキンググループ)で検討**

対策 → **研修やツールの活用等を通して、地道な働きかけの継続**

大府市 「みんな輝き 幸せ感じる 健康都市」
Welcome to OOB City 29

15. 27年度に向けての体制

大府市の在宅医療・介護連携推進事業の全体図





WHO健康都市おおぶ

16. 27年度の事業計画

27年度 大府市在宅医療・介護連携推進事業 ロードマップ (27年2月25日現在)

項目	事業名	26年度			27年度												
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
ア 地域の医療・介護資源の把握	関係機関のアンケート調査	実施・回収	実施	実施													
	医療・介護関係者のマップやリストの更新(月1回0.5回更新)	実施	実施	実施	更新	更新	更新	更新	更新	更新	更新	更新	更新	更新	更新	更新	更新
イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応の協議	在宅医療・介護連携推進会議(代表者)	29日			1日												
	ワーキンググループ(WGと記載する)	21・22日				WG		WG			WG			WG			
	研修会(新規グループ)					WG		WG			WG			WG			
ウ 切れ目のない在宅医療と介護の連携体制の構築	在宅医療・介護連携推進会議(イにも記載あり)	WG				WG		WG			WG			WG			
エ 医療・介護関係者の情報共有の促進	おぶちゃん連絡会の活用																
	大府市医療・介護ネットワーク協議会				1日												
	おぶちゃん連絡推進委員会(事業推進等には臨時推進委員会設置あり)					委員会		委員会		委員会		委員会		委員会			
オ 在宅医療・介護連携支援に関する相談	福祉課高齢者支援室で相談の受付(随時)					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
カ 在宅医療・介護関係者の研修の実施	多職種連携研修会																
	市民講座			1日													
キ 地域住民への普及啓発	在宅医療・介護連携推進会議(イにも記載あり)																
	連携ワーキンググループで検討					WG		WG		WG		WG		WG			
ク 近隣医療機関や知多北部広域連携協議会等との連携	保健所会議(知多北部広域連携協議会等)等における相談、情報交換	WG	会議			WG		WG		WG		WG		WG			
	知多北部広域連携協議会等における連携	担当課・担当者	担当課・担当者	担当課・担当者	担当課・担当者	担当課・担当者	担当課・担当者	担当課・担当者	担当課・担当者	担当課・担当者	担当課・担当者	担当課・担当者	担当課・担当者	担当課・担当者	担当課・担当者	担当課・担当者	担当課・担当者
ケ その他	近隣市町村との連携(随時)	○	○	○													
	事業等の近隣市町村と情報交換、連絡調整(随時)	○	○	○													



WHO健康都市おおぶ

17. 問い合わせ先



大府市役所福祉子ども部福祉課高齢者支援室

メール: fukushi@city.obu.lg.jp

電話 : 0562-47-2111(代表)内線365

0562-45-6289(直通)

FAX : 0562-47-3150

住所 : 〒474-8701

大府市中央町五丁目70番地



大府市

「みんな輝き 幸せ感じる 健康都市」 32

WELCOME TO OBU CITY



WHO健康都市おおぶ

在宅医療に関するアンケート調査

◇医師、歯科医師、薬剤師、訪問看護師、高齢者相談支援センター、居宅介護支援事業所、訪問介護、通所介護事業所
250件 回収191件 回収率76.4%

- 在宅医療(往診と訪問診療)について
- 在宅チーム医療の推進・多職種連携・情報共有
- 認知症の人への支援に関して
- 研修・勉強会などについて

 大府市 「みんな輝き 幸せ感じる 健康都市」
Welcome to OBU City



WHO健康都市おおぶ

医療に係る機関からの回答

◇在宅医療(往診と訪問診療)について

往診や訪問診療を行っている機関: 医科:13件 歯科:4件

訪問看護実施数 350人(医療保険70人、介護保険対象280人)

往診と訪問診療のできる医療機関を増やす

複数の医療機関が連携し、在宅医療体制をつくる、共有システムの構築

◇在宅チーム医療の推進・多職種連携・情報共有

①情報共有のツールを作る。②在宅医療について相談できる窓口を設ける。

③情報交換のできる機会を作る(事例検討会等)

◇認知症の人への支援に関して

①受診を拒否する人への往診 ②レスパイト入院が出来るシステム。

③医療・介護の24時間体制の構築

◇研修・勉強会などについて

①在宅医療に携わる多職種の人たちの体験談、情報交換 ②事例検討会

③看取り看護(ターミナルケアにおける本人・家族への対応含めて)

 大府市 「みんな輝き 幸せ感じる 健康都市」
Welcome to OBU City



WHO健康都市おおひ

介護事業所からの回答

- 対象:高齢者相談支援センター、居宅介護支援事業所、通所介護、訪問介護、通所リハビリ
- ◇在宅医療(往診と訪問診療)について
 - 往診と訪問診療のできる医療機関を増やしてほしい 迅速に入院できる体制をつくる
 - 複数の医療機関が連携し、在宅医療体制をつくる、共有システムの構築
- ◇在宅チーム医療の推進・多職種連携・情報共有
 - 主治医との連携が取れていない(54%)
 - 理由:手段がわからない、共有ツールがない
 - ①情報共有のツールを作る。②在宅医療について相談できる窓口を設ける。
 - ③情報交換のできる機会を作る(事例検討)
- ◇認知症の人への支援に関して
 - ①受診を拒否する人への往診 ②レスパイト入院が出来るシステム。
 - ③医療・介護の24時間体制の構築
 - ④歯科・整形外科・耳鼻科・眼科などに安心して受診できるネットワーク
- ◇研修・勉強会などについて
 - ①情報共有システムの勉強会 ②医学的な専門分野の研修会
 - ③事例検討会 ④在宅医療に携わる多職種の体験談、情報交換

 大府市 「みんな輝き 幸せ感じる 健康都市」
WELCOME TO OSU CITY



WHO健康都市おおひ

研修会・講演会・勉強会(1)

- ①医療・介護・福祉の連携に関する学術講演(40名)
 - 「電子@連絡帳を基盤にした健康づくり・街づくり」名古屋大学 水野正明先生
 - 日時:1月25日(土)14時~15時30分 保健センター2階会議室
- ②市民公開講座「自宅で大往生『ええ人生やった』と言うために」(300名)
 - 名田庄村診療所 中村伸一先生 13時30分~15時
 - 在宅での看取りを終えて(体験談)ご家族、登録医、国立長寿医療研究センター医師
 - 日時:2月15日(土)13時25分~16時市役所多目的ホール
- ③市民公開講座「元気な幸齢社会を迎えるために」(400名)
 - 講演「いかに生きるか」前千葉大学学長齋藤康先生
 - トークセッション「健康長寿時代の終を考える」
 - 国立長寿医療研究センター名誉総長:大島伸一先生 同研究所長:鈴木隆雄先生
 - 日時:5月13日(火)13時半~15時半 場所:市役所地下多目的ホール
- ④第1回全体会議兼多職種連携研修会
 - 「在宅医療連携拠点事業とは~大府市の在宅医療の課題~」三浦久幸先生
 - グループワーク「在宅医療介護の現場をお互いに理解しましょう」
 - 日時:5月8日(木)13時30分~15時30分 場所:大府市多目的ホール(100名)
 - 日時:5月17日(土)16時~18時 場所:スピカ(73名) *親睦会

 大府市 「みんな輝き 幸せ感じる 健康都市」
WELCOME TO OSU CITY



WHO健康都市おおぶ

研修会・講演会・勉強会(2)

⑤大府市東浦町学術講演会

「地域(医療・介護)ビジョンに基づく医療・福祉統合ネットワークのあり方」
名古屋大学 水野正明先生
日時:7月17日(木)19時30分～21時 場所:保健センター会議室 (48人)

⑥知多北部認知症研究会(第7回)

「認知症の人が地域で生ききるを支えるために」
大牟田市地域包括支援センター 猿渡進平先生
「認知症の緩和ケア」梶原診療所 平原佐斗司先生
日時:7月19日(土)15時～16時30分 場所:あいち健康プラザ (58人)

⑦第4回在宅医療・介護連携推進会議「情報共有ワーキンググループ」

「電子@連絡帳システム利用の模擬体験」
日時:8月28日13時30分 おおぶ文化交流の杜アロープ2階会議室
1か月デモ使用し体験

⑧第2回全体会議兼多職種連携研修会(講演と情報交換) 85名参加

「地域包括ケアシステムにおける在宅医療連携」～地域のつながりを求めて～
牧医院 牧靖典先生、豊明南部地域包括支援センター 田中孝則先生
グループワーク「在宅医療連携をよりよくしていくには」多職種での情報交換会
日時:8月30日15時30分～17時30分 *親睦会



大府市 「みんな輝き 幸せ感じる 健康都市」
Welcome to OBU CITY



WHO健康都市おおぶ

研修会・講演会・勉強会(3)

⑩第3回全体会議兼多職種連携研修会(講演)89名

「終末期医療、がん治療の最新情報」いきいき在宅クリニック 中島一光先生、
国立長寿医療研究センター緩和・EOLケアチーム 西川満則先生
日時:平成26年11月6日(木) 13時30分 ～15時30分 市役所多目的ホール

⑪歯科医師会及び多職種合同研修会(講演)

「電子@連絡帳を基盤にした健康づくり・まちづくり」名古屋大学 水野正明先生
日時:平成26年11月20日(木) 13時30分 ～15時00分 大府保健センター2階講義室

⑫平成26年度在宅医療・介護連携推進研修会(知多北部広域連合)

「地域包括ケアシステムにおける在宅医療・介護連携について」牧医院 牧靖典先生
日時:平成27年1月29日(木)午後7時～午後8時30分東海市立文化センター

⑬第4回全体会議兼多職種連携研修会(講演)

「在宅における摂食・嚥下の評価と対応」知多郡歯科医師会会長 内藤講一先生
「多職種と薬剤師の関わり方」いしがせ薬局 加藤大策先生
日時:平成27年2月14日(木) 15時30分 ～17時30分 石ヶ瀬会館 *親睦会

⑭在宅医療・介護連携 市民講座 in 大府(300名)

「在宅ケアの不思議な力」 演者:秋山正子先生(白十字訪問看護ステーション代表)
日時:3月1日(日)13時30分～16時 大府市役所多目的ホール



大府市 「みんな輝き 幸せ感じる 健康都市」
Welcome to OBU CITY



おぶちゃん連絡帳の登録事業所数、 登録人数(2月20日現在)

施設 分類	医療 機関	歯科	薬局	訪問 看護	居宅 支援 事業 所	高齢 者相 談支 援セ	介護 事業 所	行政	合計
施設 数	10	6	5	9	11	2	7	2	52
人数	10	6	5	24	16	7	7	8	83

大府市の27年4月以降の在宅医療・介護

- 事業を通して、医療・介護関係者の顔の見える関係が出来てきたが、温度差がまだまだある。
- かかりつけ医にも在宅医療・介護連携推進事業に参加これから求められる在宅医療を理解し、かかりつけ医として在宅医療に参加(主治医・副主治医)
- 情報共有ツールを利用した医療・介護連携が始まり、多くの医療関係・介護事業所の参加
- 中核病院との連携(退院時の連携)
- 病院で治療中の患者さんがかかりつけ医を持つこと
(病院の主治医以外でかかりつけ医を持つこと)
- 市民が在宅医療を身近に感じる事